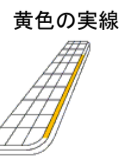
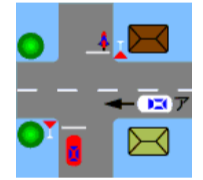
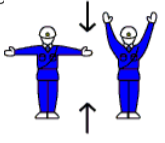


第1段階学科教習勉強用問題8

- 問題 1 自転車横断帯とその手前から30メートル以内の場所では、自動車や原動機付自転車を追い越してはならない。
- 問題 2 児童の乗り降りのため止まっている通学・通園バスの側を通る時は、徐行して安全を確かめなければならない。
- 問題 3 このような警察官の手信号は、矢印の方向に対しては、どちらも同じ意味である。
- 問題 4 大型二輪免許を受けている者は、ミニカーを運転することができる。
- 問題 5 緊急自動車を運転する時は、その自動車の運転に必要な運転免許の他に、運転経験年数や年齢について特別の資格が必要である。
- 問題 6 この標示は、午前7時から9時以外の時間帯であれば、路線バスが近づいてきても、ゆずる必要はない。
- 問題 7 飲酒運転は、運転者自身の自覚によるものであり、第三者が車を運転しようとする者に酒類を提供し、または勧めたりしても責任を問われることはない。
- 問題 8 この標識がある道路は、原動機付自転車は矢印の示す反対方向に進行することができる。
- 問題 9 車両通行帯のある道路では、やむを得ない場合のほかは、二つの車両通行帯にまたがって通行してはならない。
- 問題 10 標識や標示により、最高速度が指定されていない場合には、普通自動車は、時速60キロメートルを超えて運転してはならないが、最高速度が指定されている場合は、その最高速度を超えて運転してはならない。
- 問題 11 二輪車を運転中、徐行するため、このような手による合図をした。
- 問題 12 路面電車が停留所で止まっている時は、人の乗り降りが終わるまで、一時停止していなければならない。
- 問題 13 自動車を運転する時は、有効な自動車検査証と自動車損害賠償責任保険証明書または責任共済証明書を備えているか確かめることが大切である。
- 問題 14 この標識は、中央線を示している。
- 問題 15 この標識は、車両、路面電車、歩行者の通行禁止を表している。
- 問題 16 信号機が設置されている踏切で信号機の表示する青信号に従って通過する時は、安全確認をすれば一時停止の必要はない。
- 問題 17 交差点が近くにならないような道路で、緊急自動車が近づいてきた時は、中央に寄って進路をゆずるのがよい。
- 問題 18 バックで発進する場合は、同乗者などに後方の安全確認を手伝ってもらえば、運転者は後方の確認をしなくてもよい。
- 問題 19 オートマチック車で駐車する時は、短時間でもチェンジレバーをPの位置に入れ、ハンドブレーキを確実にかけるのがよい。
- 問題 20 車は、こう配の急な道路の曲がり角付近で、この標示があるところでは、道路の中央から右の部分にはみ出して通行することができる。
- 問題 21 制動距離とは、空走距離と停止距離を合わせたものである。
- 問題 22 赤色の点滅信号の時は、自動車は他の交通に注意して進むことができる。
- 問題 23 このような交差点ではAの方向からくる車は、徐行する必要はない。
- 問題 24 運転者は車に乗り降りをする際、後方から接近してくる車の有無を確認するようにする。
- 問題 25 普通自動車で車両総重量が750キログラム以下の車をけん引する時は、けん引する自動車の免許があれば、けん引免許は必要ない。
- 問題 26 この標識のある道路では、原動機付自転車は通行できる。
- 問題 27 自動二輪車や原動機付自転車は、幅の広い路側帯のある道路で交通量が多い場合には、その路側帯を通行することができる。
- 問題 28 助手席にエアバックが備えられている車で、助手席に子供を乗せる時は、座席をできるだけ後方に引いて、チャイルドシートを前向きに取り付けるとよい。
- 問題 29 この標識は、この先が安全地帯であることを示している。
- 問題 30 前方の交通が渋滞している場合は、横断歩道や踏切に入ってはいけませんが、自転車横断帯に入って停車するのはかまわない。
- 問題 31 ブレーキをかける時は、最初はできるだけ軽く踏み込み、それから必要な強さまで徐々に踏み込むのがよい。
- 問題 32 道路の曲がり角付近では、自動車や原動機付自転車を追い越してはならない。
- 問題 33 車両通行帯が黄色の線で区画されている時は、右折や左折のためでも、黄色の線をこえて進路を変えてはならない。
- 問題 34 交差点で右折しようとする時は、あらかじめできるだけ道路の中央に寄り、交差点の中心の内側を徐行しなければならない。
- 問題 35 この標示は、駐停車禁止を表している。
- 問題 36 横断歩道や自転車横断帯とその手前30メートル以内の場所では、ほかの車(軽車両を除く)を追い越したり追い抜いたりしてはいけません。



問題 37 路線バスなど優先通行帯があいていたので普通乗用車で通行していたところ、後方からバスが近づいてきたが、そのまま進行した。



問題 38 この標識の設置してある道路では、道路の幅員が6メートル未満で見通しがよければ、はみ出す部分ができるだけ少なくして追い越すことができる。

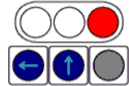
問題 39 道路の左側部分が6メートル未満の見通しのよい道路で追い越しをする時(禁止場所を除く)は、中央線から右側部分にはみ出してもよい。

問題 40 踏切内では、発進した時の低速ギアのまま、中央寄りを一気に通過するのがよい。

問題 41 同一方向に進行しながら進路を変える時の合図の時期は、進路を変えようとする時の約30メートル手前の地点である。

問題 42 オートマチック車のエンジン始動直後、チェンジレバーを操作する時は、ブレーキペダルをしっかりと踏んでないと急発進や突然後退したりすることがある。

問題 43 交差点で右折しようとする自動車が、この信号機の信号に対面した時は、停止線をこえて交差点の中心まで進み、右折の青矢印に変わるまで待たなければならない。



問題 44 他の車に追い越される時、相手に追越しをするための十分な余地がない場合には、あえて進路を譲る必要はない。

問題 45 シートベルトは、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たせることにより疲労を軽減するなど、さまざまな効果がある。

ここまで



問題 46 この補助標識の意味は、それぞれ同じ意味である。



問題 47 乗車定員11人乗りのマイクロバスは、普通免許で運転することができる。

問題 48 横断歩道に近づいた時、歩行者が横断していたり、歩行者が横断しようとしている場合は、歩行者との間に安全な間隔をあけるか、徐行して通過しなければならない。

問題 49 この標識のように、交差点で進行する方向ごとに通行区分が指定されている時は、指定された区分に従って通行しなければならないことを示している。



問題 50 歩道や路側帯のない道路を通行する時は、路肩(路端から0.5メートルの部分)にはみ出して通行してはならない。

第1段階学科教習勉強用問題8 解答

↓ ^{りしゅうばんごう}履修番号を^{きょうしゅうこうもく}教習項目に^{お か}置き換えて、^{きょうほん}教本で^{しら}調べて^{べんきょう}勉強してください。

問題 1	○	履修番号 9	問題 26	×	履修番号 3
問題 2	○	履修番号 7	問題 27	×	履修番号 4
問題 3	○	履修番号 2	問題 28	○	履修番号 1
問題 4	×	履修番号 10	問題 29	×	履修番号 3
問題 5	○	履修番号 10	問題 30	×	履修番号 4
問題 6	○	履修番号 5	問題 31	○	履修番号 5
問題 7	×	履修番号 1	問題 32	○	履修番号 9
問題 8	○	履修番号 3	問題 33	○	履修番号 8
問題 9	○	履修番号 4	問題 34	×	履修番号 6
問題 10	○	履修番号 5	問題 35	○	履修番号 3
問題 11	○	履修番号 8	問題 36	○	履修番号 9
問題 12	○	履修番号 7	問題 37	×	履修番号 5
問題 13	○	履修番号 1	問題 38	×	履修番号 9
問題 14	×	履修番号 3	問題 39	○	履修番号 9
問題 15	○	履修番号 3	問題 40	○	履修番号 6
問題 16	○	履修番号 6	問題 41	×	履修番号 8
問題 17	×	履修番号 5	問題 42	○	履修番号 5
問題 18	×	履修番号 8	問題 43	×	履修番号 2
問題 19	○	履修番号 5	問題 44	×	履修番号 9
問題 20	○	履修番号 4	問題 45	○	履修番号 1
問題 21	×	履修番号 5	問題 46	×	履修番号 3
問題 22	×	履修番号 5	問題 47	×	履修番号 10
問題 23	○	履修番号 6	問題 48	×	履修番号 7
問題 24	○	履修番号 8・ ^{うんてんきょうほん} 運転教本	問題 49	○	履修番号 3・6
問題 25	○	履修番号 10	問題 50	○	履修番号 4

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを学科教本を使って理解できるまで勉強しましょう。→問題で覚えると、問題文が変わるとわからなくなります。